精華小学校附属愛児幼稚園

数十年に一度の大寒波到来で、寒さの厳しい日がありましたが、
子ども達は寒さに負けず、登園時から元気いっぱいです。

節分　豆まき　２月３日

園での節分は、「自分の心の中の鬼を退治する大切な日」として、毎年取り組んでいます。

当日「鬼なんてやっつけてやるぞ！」と意気揚々と登園する子もいれば、「大丈夫かな・・・」と不安な姿を見せるなど、それぞれの思いをもっての登園となりました。

その後しばらくすると、太鼓の「ドンドン」という音と共に、４体の鬼が登場、子どもたちは、全力で鬼に向かって豆を投げつけました。途中で年長の担任が鬼に連れ去られそうになり焦った子ども達でしたが、勇気を出して豆をぶつけたことで鬼を退治、無事に担任を取り戻すことに成功しました。

「鬼をやっつけた！」という経験が自信につながり、きっと自分の心の中の弱い鬼もやっつけることができた子ども達、園の所々に年長が作ってくれた１３月のお守り（焼嗅・柊鰯）が飾られています。それがあれば、今年度はもう大丈夫！年長さん、ありがとう！

昔ながらの伝統行事を大切にするため、今後も体験を通じて由来や意味を伝えていきたいと思います。

土と版画展（２月１日～３日）に展示された作品

バロー文化ホール２階大会議室にて、多治見市内の幼稚園・保育園全園の子ども達の作品が飾られました。

精華愛児幼稚園は、一年を通して砂・泥・土粘土・油粘土など、様々な素材の感触を味わいながら活動を進めてきました。

また版画では、手型・足形・指スタンプ・野菜スタンプ・スチレン版画など、こちらもたくさんの素材を使用して活動を広げてきました。一人一人がイメージを膨らませて形を作りあげたり、友達と一緒に一つの物を作り上げたりと、幼稚園ならではの貴重な経験ができたのではないかと感じています。